

ニューヨーク研修

最初はニューヨーク研修に行く機会があるのだから行ってみようという気持ちで参加を希望し、ニューヨークへ行くことになりました。オーストラリアやヨーロッパへは行ったことがありましたが、アメリカへは行ったことがなく、銃社会であることに少し不安を感じていました。13時間のフライトを終え、ジョン・F・ケネディ空港に着陸する前に飛行機の窓から、ニューヨークの街並みが見えてきました。マンハッタンの高層ビル群が現れたときの感動は忘れられません。ニューヨークに来たという実感とともに、これからの生活に夢を膨らませました。

ニューヨークでの生活が始まり、まずはPace Universityでの英語のレッスンでした。英語での症状の表し方や、問診の仕方などわからないことが多く、英語への高い壁を感じました。一番勉強になったのは、模擬患者への診察です。そこでの模擬患者の方は、模擬患者役として数々の経験をしているプロの方で、演技がリアルで本当の患者さんに診察しているような経験ができました。一通りの問診や身体診察、鑑別、検査の方針などの診療の後には、模擬患者役の方からのフィードバックがありました。自分がよく注意されたことはLの発音です。どう注意しても正しく発音することが難しかったです。また、患者さんに共感することへの重要性も感じました。患者さんに何か悪いことがあった時に共感の言葉をかけてあげることで、信頼も得られますし、良好な関係にもつながっていきます。

次に、金沢出身ブロードウェイ俳優の由水南さんのレクチャーがありました。ブロードウェイに挑戦されている由水さんの生き方を見て、とてもかっこよく感じました。特に印象に残った言葉が、「Comfort zoneから出てみる」というもので、これは自分の過ごしやすい環境から出てみるという意味です。自分のComfort zoneばかりにいてしまうと、新しい変化や成長が少なく、挑戦することがなくなってしまうです。NYに来たこともComfort zoneから出たということで、このような挑戦をこれからも続けていきたいと思いました。

次に、日本でALTをしていた方との飲み会があり、言語の壁を超えて盛り上がりました。自分が話したいことがあっても、英語で上手く表現できないもどかしさを感じました。ゆっくりでも英語で伝えようとすれば相手も聞いてくれて伝わりますし、とりあえず話すことに挑戦することが大切だと感じました。

次に、マンハッタンから電車で約1時間、ハドソン川沿いの豊かな自然を眺めながら到着したPhelps Hospitalでは、ACLSトレーニングがありました。英語でのACLSは難しかったですが、良い経験となりました。

次に、Shadowingでは、産婦人科クリニックの澤井先生と、The Children's Hospital at Montefiore の小児科の内藤先生のもとで研修を行いました。澤井先生のもとでは、妊婦健診や婦人科疾患の診察を見学しました。日本との診察の仕方の違いはたくさんありました。医師と患者とがよりフランクに会話していて、距離が近く良い関係だと感じました。その日の夕方には連携の病院でお産があるということで、急遽そちらも見学させていただくことになりました。日本とはまた違った雰囲気、妊婦に声かけをする産婦人科医の熱量に圧倒されました。無事出産まで見届けることができました。内藤先生は金沢大学出身の方で、そこでは小児科外来を見学しました。子どもたちは無邪気で可愛らしく、子供の無邪気さは世界共通なんだと感じました。午後は、小児リウマチ科カンファレンスがありました。会場は病院近くの一軒家で、その一軒家が小児リウマチ科の医局になっているそうです。アメリカのスケールの大きさに驚きました。

次に、マウントサイナイ病院に訪問しました。森下先生、川竹先生からお話を聞きました。印象に残ったのは、川竹先生の社会性の発達臨界期の内容で、幼少期～思春期がその社会性発達の

臨界期で、その時期に受けた影響で社会性が決まっていくというものでした。とても興味深く、自分も研究したい分野を見つけて研究していきたいと感じました。

このようにニューヨークで働かれているさまざまな方々とお会いすることができ、多くの刺激を受けました。海外で挑戦することは自分にとっては遠いことだと考えていましたが、このNY研修を通して、身近に感じることができました。海外に興味がないなと思っている方でも、このNY研修からでも参加されることをお勧めします。ぜひ自分のComfort zoneから出てみてください。

自分はランニングが好きで、ニューヨーク滞在中もいろんなコースを走りました。お勧めのコースを記しておきます。

- ・セントラルパーク…1周約10キロのランニングコースのある公園。多くのNY市民がランニングやサイクリングを楽しんでおり、マンハッタンのビルを眺めながら豊かな自然の中を走ることができます。
- ・マンハッタンの西岸…ハドソン川沿いにランニングコースが整備されており、ハドソン川や対岸のニュージャージー州を眺めながら走ることができます。
- ・ブルックリンブリッジ…朝一は人も少なく、全長1.8kmの橋を走ることができます。橋から眺めるマンハッタンの高層ビルは圧巻です。

この研修を計画してくださった、Andrewや臨床研修センターの方々、現地で指導してくださった方々に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

・ Children's Hospital at Montefiore

・ スタテン島行きフェリー上にて

